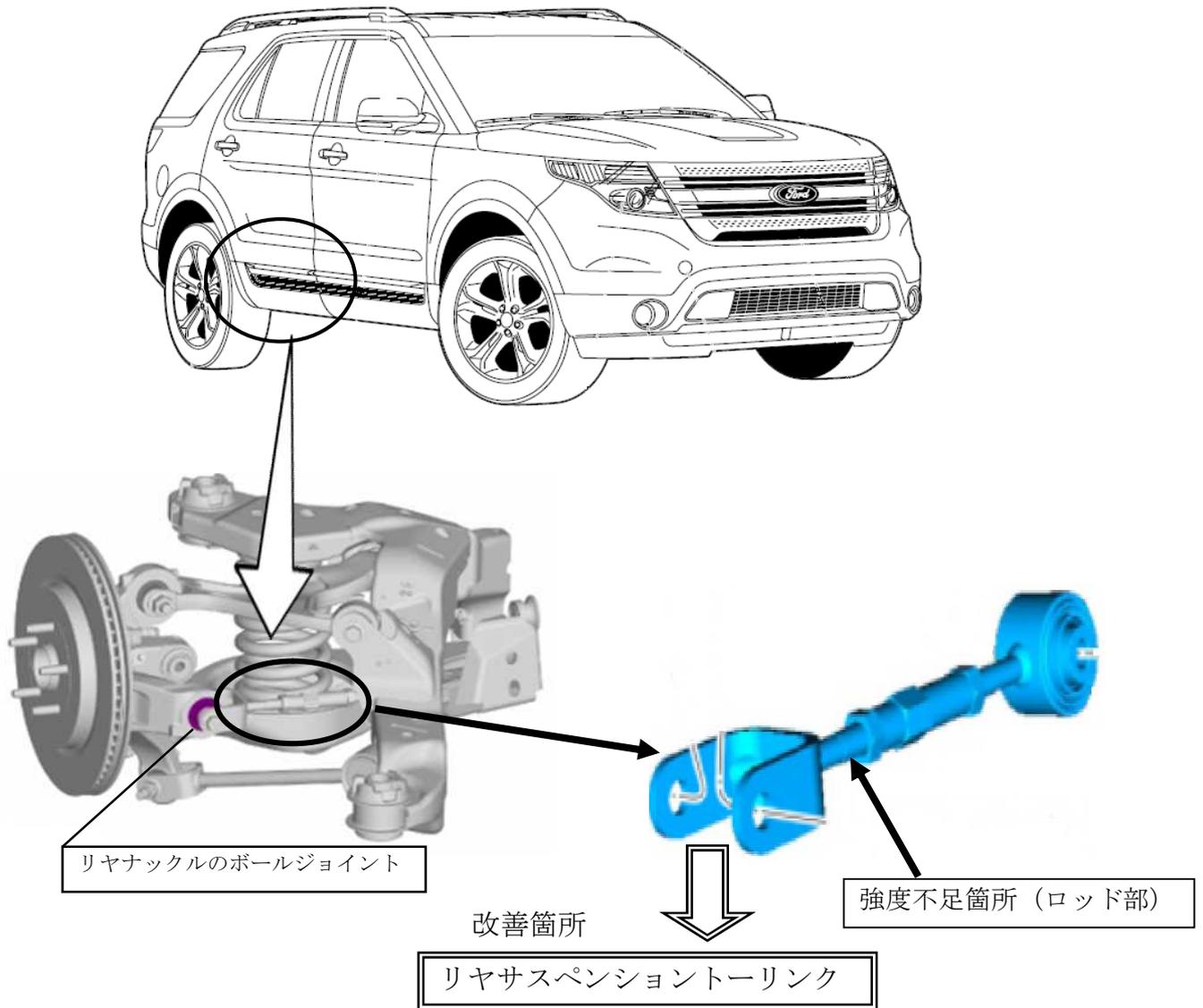


改善箇所説明図



緩衝装置のリヤサスペンショントーリンクにおいて、強度検討が不適切なため、ロッド部の強度が不足しているものがある。リヤナックルのボールジョイントが、アフターマーケット部品に交換されている一部車両では、冬季凍結防止剤等による腐食のため円滑に動かなくなる事があり、トーリンクに加わる曲げ応力増加によりロッド部が破損し、最悪の場合、走行不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両、令和元年9月27日付け届出番号 外 2918（左右リヤサスペンショントーリンク交換）が実施済みかどうか確認する。

- ・未実施の場合は左右のリヤサスペンショントーリンクを対策品に交換する。
- ・実施済みの場合は、リヤナックルがボールジョイントタイプかゴムブッシュタイプか確認する。
- ・ボールジョイントタイプの場合は、リヤサスペンショントーリンクを対策品に交換する。

識別：リヤドア左側のドアチェックリンクボルトに黄色ペイントを塗布する。

注： 内は改善箇所を示す。